



歌川国芳「橋掛女辨慶（松の鮓）」（左）、菊川英山「今様女扇」（右）より構成

🔔2023年度第32回開講式—4月4日（火）開催！！

第32回開講式が、川崎市生涯学習プラザ401会議室を会場とし、3年連続オンライン併用で開催されました。新規受講生をはじめとする102名と昨年の62名に比べ多数の受講生（会場57名、オンライン45名）が参加しました。来賓として大島教育委員会事務局生涯学習部長をはじめ多くの方々にもご出席いただきました。



第1部開講式では、まず馬場康雄学長から、かわさき市民アカデミーが開学30周年を迎え、日本の近代社会で誕生した市民大学は平均寿命が5年くらいであることを考えると、驚嘆すべきこと、慶賀すべきことであり、何よりも受講生の知的好奇心とエネルギーが一番大きかったと冒頭話されました。アカデミーで学ぶことは、人の話に耳を傾け、自分の頭でものを考え、おかしなことはおかしいと思える人がたくさん生まれること、なるほどと思う一瞬が大事であり、それを他の人に伝えることが大事であると挨拶されました。



太田猛彦理事長からは、今年は開学30周年でありNPOになって17年になることは受講生の皆さんが運営を手伝ってくださっていることが大きく、新しい皆さんもできれば運営に協力いただき、人とのつながりを作っていたいただきたいこと、一方で生涯学習財団をはじめ川崎市のご支援が大きかったこと、今までの30年とは違う形の発展に運営の方でも川崎市の皆さんともしっかりと協力を広げていかなければならない等のお話がありました。

川崎市生涯学習財団石井宏之理事長は、人生100年時代にまさに突入している中、ライフステージの定義も変化、コロナ禍の中で価値観の変化もあり、変化をチャンスと捉えより



柔軟なチャレンジが重要になるとのお話がありました。



最後に、川崎市教育委員会事務局大島直樹生涯学習部長は、アカデミーが全国にも類を見ない市民大学であることは川崎市にとっても大きな誇りであること、生涯学習が充実し地域のつながりが広がっていくことは来年市制100周年を迎えるにあたって重要であり、アカデミーは高い専門性を有する市民大学として川崎市の生涯学習を牽引して欲しいと述べられ、来賓のお祝いのことばとされました。



記念講演・木村学先生
（東京大学名誉教授）

「我々は何ものか、どこからきてどこへゆくのか、宇宙と地球を見つめて」

講演のタイトルのゴッガン（Gogh）の絵を紹介され、『我々』という主語を変えるとあらゆるものに通じる、人はとにかく「知りたい」、知ることで我々のいのちを長引かせるという本能を持っていると思わざるをえない、死に行く一瞬まで世の中を知りたがるんだろうなと思っている、というお言葉から講演がスタートしました。

講演は、宇宙・地球・日本列島の様々なことについて、最新の研究成果も織り込まれた、まさに「知りたい」人を惹きつけるものでした。最後に先生は「かわさき市民アカデミーはリベラルアーツ精神にあふれたいつまでも学び続ける非常に貴重な場であり、皆さん是非いろんな講義を受けていただきたい」と話されました。



NPO 法人かわさき市民アカデミー

5月23日(火) 14時～「総会」が開催されます

総会は、アカデミーの最高意思決定機関です。

会場 川崎市生涯学習プラザ301会議室

「22 後期運営代表世話人会議（2月9日）を開催しました」

NPOでは、財政的に厳しい状況にあるアカデミーを存続させるため第4次中期経営計画を策定中であり、今回の会議はこれを中心に協議された。第I部では、①22年度末延べ受講生数は19年度から2割減。予算外の川崎市委託事業が得られたことで総収入は対予算増となりますが、受講申込み新システム開発経費・印刷費・人件費の対予算増、講座WS収入・寄付金の対予算減等により、22年度収支見込みは予算比▲250万円の▲550万円、繰越金も減少の見込み。（総務）②受講生アンケート結果、特別講座、第4次中計の課題（魅力ある講座の実現、通信環境確認、受講回数多様化・会員制度見直しの検討、講座印刷資料削減）について（事業推進）、③受講継続とプラスワン受講の呼びかけ、次期講座テーマ等の早期紹介、川崎市内・横浜市内・東京都等への広報、オンライン講座の遠隔地広報（ツイッター検討）（広報・地域連携）、④各委員会からの報告があった。講座・WSからは、野外学習の行き場所重複の調整について意見が出された。第II部グループ協議では、受講生が財政状況を知る、受講生減の要因分析、講師陣充実・レベルの高さ・支持層持っている講座を大切に、新規受講生に敷居の低い講座を、体験講座実施、値上げは最後の手段、2年会員と聴講生の差の検討、オンライン申込改善、定員見直し、SNSの広報、資料代等見直し、講座回数多様化（3～6回）、1回のみ受講。野外講座での関係者間の情報交換・出席者確認・安全（イヤホンガイド）等の受益者負担。各講座・WSの要望など、多くの意見が寄せられた。【事業推進部会】

特別講座「日本の保守とリベラル」開催報告 3月30日、生涯学習プラザで宇野重規東京大学教授を講師に、特別講座を開催しました。本年1月に同名の中公選書を刊行し、22前期政治・社会WS「保守とリベラルとは何か」を担当された先生の講義に多くの方が参集しました。よく使われる二つの概念をもとに、明治から今後の日本での現実政治と理念、精神的支柱の有無等が問われ、現在の政治状況を考える好機となりました。様々な思想家の見解をユーモアを交えてお話いただき、質疑応答も活発でした。[稲田]



特別講座のご案内 会場：新百合21ビルB2・多目的ホール（各講座の詳細は個別チラシをご覧ください）

**多摩美術大学教授
青木 淳先生による
運慶800年遠忌 特別講座**

『運慶の話をしよう』

日時（全3回）
5/23・5/30・6/6
10:30～12:00
受講料 4,500円

会場受講のみ

音楽特別講座
「19世紀ドイツの『家庭音楽会』を愉しむ」
（5月25日14時～16時）

ピアノという楽器は、18世紀後半から19世紀にかけて広く市民に浸透しました。そして沢山の演奏陣を要する交響曲が一台のピアノで愉しめる様に編曲され、家族や友人が集まり手軽に愉しむという小規模な演奏会が盛んに催されました。当時のそんな「家庭演奏会」をイメージしたレクチャーコンサートです。ベートーヴェンのあの名曲をピアノでお愉しみ下さい。

特別講座
現代日本と宗教の問題
島蘭 進（東京大学名誉教授）
日時：6/13、6/27、7/11
火曜 10:30～12:00
受講料 4,500円（全3回）

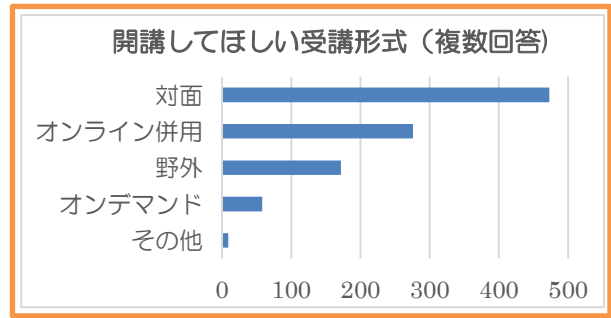
宗教と政治、宗教と社会の好ましくない関係がなぜ生じ、是正するにはどうしたらよいのか。講師の考察をうかがい、考えていきます。

▷ かわさき市民アカデミー受講・制度等に関する受講生アンケート結果

NPOでは昨年12月に、今後数年の企画支援・運営・経営の計画を立てる参考として、**22後期受講生**を対象に**アカデミーの講座・制度に関するアンケート**を行いました。会場354名、Googleフォーム416名、計770名の回答者は、①約半数が70代、②川崎市内在住が約7割（市内は中原区が最多）。③2年会員45%、聴講生43%、1年会員13%、④受講年数は3~5年28%、10年以上が27%の順で多く、⑤受講講座数は、1講座受講の方が320名、2講座190名、1WSを受講の方が150名、2WSが110名でした。

新規受講生のみへの質問では、①**アカデミーを知ったのは**、市民館・図書館、新聞折込、知人、HP等、②**受講を決めた理由**で多いのは、興味がある内容・分野・テーマが多いこと、③**アカデミーでの受講に75%が満足**しており（**満足の理由は**、講義内容・テーマ、講師陣の充実。**普通**の理由は、講師によるばらつき、知識を得られた等）、④**来期もアカデミーで受講するか**は、決めていないが58%、来期も受講するが40%。**来期受講の主な理由**は、興味ある分野・テーマの講座、講座・内容が充実、系統的な学習。**決めていない理由**については、来期の内容・プログラムがまだわからない、受講したい講座があれば受講する等の回答がありました。

受講に関する質問（全員への質問）では、①**通いやすい会場**として、川崎市生涯学習プラザ68%、新百合21ビル37%、高津市民館26%が多くなっており、②**開催してほしい受講形式**は、対面64%、オンライン併用37%、野外23%、オンデマンド8%の順となっています。



す。③**1講座12回の講座回数**は、適当であるが82%、④**講座内容のレベル**は、91%の方が適当であるとの回答でした。

制度に関する感想（全員への質問）では、⑤**会員制度**については、普通65%、わかりやすい22%、わかりにくい13%で、わかりにくい点は、仕組み全体、会員と聴講生の違い、2年会員と1年会員の違い等が見られました。⑥**講座の申込方法**は、普通63%、わかりやすい35%。回答は少数でしたがわかりにくい点として、HPでの申込、募集情報へのアクセス、講座の開始時期・受付期間等がありました。⑦**受講生紹介制度**は知らないが79%、**世話人制度**は知っているが83%でした。⑧**費用面**では、81%の人が現在の**受講料**は適当であると回答。**アカデミーを含む半年間の生涯学習費用**は、5万円未満が71%でした。

この他**広報・HPの改善点、アカデミーへの要望**についての質問に貴重な回答をいただいております。回答者の皆様には、ご協力ありがとうございました。

カリキュラム企画・編成委員の先生方に異動がありました。

石井誠治先生が副学長に就任されました。

副学長(1月付け)

石井誠治先生
(みどり学)



都築勉先生が、カリキュラム企画・編成委員に就任されました。

カリキュラム企画
・編成委員(10月付け)

都築 勉先生
(政治・社会)



第15回受講生のつどい～修了を祝って（3月8日）

弥生8日、108名の修了生の内38名と先生方、一般の受講生が集いました。修了式では馬場学長からかわさき市民アカデミーの「アカデミー」は、プラトンの「アカデメイア」に由来すること、学びは対話によって一層深化すること、また、最近の教育の場へのGPSなどの導入により、対話のあり方が懸念されること、そして、真にめざすべきは人間の精神活動の根幹である「知・情・意」であるとの式辞がありました。この後、環境とみどり受講生の今井久善さんから修了生代表として堂々としたあいさつがありました。

続くアトラクションでは、日本で15年に及ぶ演奏活動をしているウクライナ人のカテリーナさんが民族楽器を奏でながら平和への深い思いを歌い、語るのを参加者は聴き入っていました。（なお、参加者からの心のこもった支援金は後日ウクライナ大使館にお送りしました。）第3部の交流会でお願いした先生方のスピーチはまるで連続ミニ講座のように魅力的なものでした。

この後の交流会では、先生方のお人柄が滲み出たスピーチと実行委員が知恵と工夫を凝らしたクイズを楽しみ、和やかな午後のひとときの幕を閉じました。



SDGs 講演会『パンデミックの3年間一何を学んだか』

（2月18日）



2月18日、オンラインで開催されたSDGs講演会の講師は、昨年大好評だった東京大学名誉教授 黒木登志夫先生が再登壇。2022年度後期講座「いのちの科学」の第1回講義を再編したものに、その後も毎月のように発表されていたレポートを盛り込んだ最新のデータに基づく説得力のある講演会でした。さらに、先生の語り口は平明でわかりやすく、とても聴きやすかったと、多くの視聴者から感想が寄せられました。

なお、現在、YOUTUBEでの配信に向けて準備を進めています。

編集後記

今年もまた春がやってきました。毎年花は同じように咲くけれど、歳々年々人同じからずとは中国の古詩。アカデミーは每期新規の受講生を200名以上、今期も約200名を迎えてスタートしました。平均すれば各講座に4人、この新しい方々がこれからのアカデミーを支えてくれるのを願っています。

受講生のつどいで修了生となられた方は約100名、生涯学習ですからこれからもお元気で学習を続けられることを願っています。 K.H

認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー

発行人 広報・地域連携部会

編集人 かわら版編集委員会

川崎市中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習プラザ 3F

電話 044-733-5590 FAX 044-722-5761

問合せメールアドレス

info@npocademy.jp/

<http://npocademy.jp/>

HPは
こちら

